

II 評価書作成の趣旨

「静岡県教育振興基本計画(2018年度～2021年度)」(以下「基本計画」という。)に掲げた目標指標と主な取組を含め、その進捗状況を確認するため、評価書を毎年度作成し、施策の継続的な改善を図るものである。

なお、本評価書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により義務付けられている「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価等」の報告書を兼ねる。

III 2021年度の評価の概要

2018年度からスタートした基本計画は、本県教育の基本理念である「有徳の人」の育成に向け、特に重要な10項目(中柱)について、県と県教育委員会が一体となって重点的に取り組んできた。計画期間の最終年度を迎える今年度は、各小柱に設定した「目標指標」の評価について、「指標の評価」に加え、新たに「課題」及び「次期計画に向けた今後の方向性」の記載欄を設けることで、次期計画に向けた課題や施策の方向性を整理した。また、「目標指標」、「主な取組」とともに過去4年間の進捗状況の推移を表にまとめ、各取組の進捗について総括評価を実施した。

各取組については、県内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出自粛やイベント等の開催の中止又は延期、規模縮小が余儀なくされ、全体の約3割の取組の進捗に影響が出た。

そのため、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「目標指標」については、2020年度の評価に引き続き、影響を補完・軽減する取組や工夫、当初の計画を代替する取組を含めて「指標の評価」と「課題」を明確にするとともに、次期の静岡県教育振興基本計画(以下「次期計画」という。)の策定につなげるため、影響を踏まえた「次期計画に向けた今後の方針」を具体的に示すこととした。

また、それぞれの「目標指標」に関連する「主な取組」についても、新型コロナウイルス感染症の影響の有無も含め、全ての取組の具体的な進捗状況の根拠を示し、今後に向けた取組内容の妥当性及び方向性を確認した。

1 目標指標の進捗状況

章立て	目標値 以上	A	B	C	基準値 以下	—	計
第1章 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現	2	2	3	6	2	2	17
第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現	0	1	3	1	2	0	7
第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現	5	0	2	0	3	3	13
計	7	3	8	7	7	5	37
	21.9%	9.3%	25.0%	21.9%	21.9%	—	

<目標指標（維持目標を除く）の進捗状況区分>

区分	基準
目標値以上	「実績値」が「目標値」以上のもの
A	「実績値」が「期待値」の推移の+30%超え～「目標値」未満のもの
B	「実績値」が「期待値」の推移の±30%の範囲内のもの
C	「実績値」が「期待値」の推移の-30%未満～「基準値」超えのもの
基準値以下	「実績値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

※「静岡県の新ビジョン」における成果指標の達成状況区分に倣っている。

<維持目標の進捗状況区分>

区分	判断基準
目標値以上	「実績値」が「目標値」以上のもの
B	「実績値」が「目標値」の85%以上100%未満のもの
C	「実績値」が「目標値」の85%未満のもの
基準値以下	「実績値」が「基準値」以下のもの
—	統計値等発表前、当該年度に調査なし等

<複数の数値目標を掲げている指標>

区分	評点	平均により 目標全体の 評価を決定 →	区分	平均点
目標値以上	5		目標値以上	5.0点
A	4	A	4.0点以上5.0点未満	
B	3	B	3.0点以上4.0点未満	
C	2	C	1.0点超え3.0点未満	
基準値以下	1	基準値以下	1.0点	

※それぞれの数値目標に対応する「現状値」の進捗状況の区分を点数化し、その平均点により目標指標全体の進捗を判断する。

<新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標>

章	指標名	進捗状況
第1章	国民体育大会における総合順位	—
	県内文化施設（概ね300人以上の公立ホール）利用者数	基準値以下
	ふじのくに文化財オータムフェア参加者数	目標値以上
	学校関係者評価を公表している学校の割合	C
	特色化教育実施校比率（私立高等学校）	基準値以下
第2章	ふじのくにグローバル人材育成基金による海外派遣者数	B
	県内高等教育機関の公開講座・シンポジウム開催回数	基準値以下
	「大学等見学・体験」を実施した高等学校の割合	基準値以下
第3章	家庭教育に関する交流会実施園・学校数	基準値以下
	公民館・生涯学習施設等の講座・学級開催回数	基準値以下
	地域社会などでボランティア活動に参加したことがある児童生徒の割合	基準値以下
	消費者教育出前講座実施回数	目標値以上
	地域で行われる防災訓練の児童生徒参加率	—
	児童生徒の年間交通事故死傷者数	目標値以上

※P29以降の施策群別評価で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取組には「★」を記載

2 主な取組の進捗状況

章立て	◎	○	●	計
第1章 「文・武・芸」 三道の鼎立を目指す教育の実現	16	280 (25)	11	307 (25)
第2章 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現	2	63 (14)	9 (1)	74 (15)
第3章 社会総がかりで取り組む教育の実現	10 (5)	188 (39)	20 (1)	218 (45)
計	28 (5)	531 (78)	40 (2)	599 (85)
	4.7%	88.6%	6.7%	

※()は再掲の取組で内数

<主な取組の進捗状況区分>

区分	評価の観点	
	時間的	数量的
◎	前倒して実施	増加・拡大傾向
○	計画どおり実施	横ばい傾向
●	計画より遅れている	減少・縮小傾向

<新型コロナウイルス感染症の影響を受けた主な取組数と割合> (該当数/全体数)

章	◎★	○★	●★	計
第1章	5/16	68/280	11/11	84/307
	31.3%	24.3%	100%	27.4%
第2章	1/2	19/63	9/9	29/74
	50.0%	30.2%	100%	39.2%
第3章	2/10	43/188	18/20	63/218
	20.0%	22.9%	90.0%	28.9%
計	8/28	130/531	38/40	176/599
	28.6%	24.5%	95.0%	29.4%

※P29 以降の施策群別評価で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた取組には「★」を記載